

項目/Items	内容/Contents
開講年度 Year	2025
講義コード Subject Code	017026N1-017026N8
科目ナンバー Course Number	[17]-[LAN]-[SS]-1, [23]-[LAN]-[COM]-1
開講semester Semester	秋semester
講義名・クラス名 Subject / Class	特殊講義(言語教育科目)
プログラム名 Program Name	日本語パートナーズプログラム
担当教員 Instructor	布尾 勝一郎
実習地 Program Venue	インドネシア
単位数 The number of credits	16単位
備考 Misc. Notes	
講義分野 Subject Field	●海外実習、日本語・日本文化、キャリア形成
履修の目安 Recommended Qualifications / Knowledge	<p>国際交流基金が実施する「日本語パートナーズ」に参加することが履修の条件となります。学内選考のうえ、国際交流基金に推薦します。国際交流基金の選考に合格した学生は、派遣前研修を経て、インドネシア共和国に派遣されます。</p> <p>以下の条件を満たすことが必要です。</p> <p>(1) 留学や海外旅行と異なり、公務を行う立場であることを十分にわきまえ、自覚ある行動が取れること。</p> <p>(2) 派遣先国への関心および基本的な知識を有していること。</p> <p>(3) アジアの社会、文化を学ぼうとする好奇心と謙虚さがあること。</p> <p>(4) アジアの人たちとの交流・コミュニケーションに情熱をもっていること。</p> <p>(5) 現地の先生のサポート役として活動ができること。</p> <p>(6) 厳しい環境の中でも生活できるバイタリティと柔軟性があること。</p> <p>その他の履修条件は、プログラム参加条件に準じます（募集要項を参照）。</p>
授業概要 Course Overview	<p>日本語パートナーズは、アジアに暮らす人々が、お互いのことをよく知り合い、ともに生きる隣人として共感や共生の意識を育んでいくための橋渡し役の一端を担う人材（外務省URL参照：<a href="http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/pr/wakaru/topics/vol136/index.html">http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/pr/wakaru/topics/vol136/index.html</a>）としての活動が期待されています。派遣先国で現地の日本語教師のアシスタントとして授業運営に関わる、また派遣先校で双方向的な文化交流活動を行う、といった活動を通して、自らの異文化適応能力の向上を図るとともに、お互いのことばや文化について深く考え、プログラムを通して学んだことを自分の言葉で発信できるようになってほしいと思います。インドネシアでの生活を体験することで、日本とは異なる環境（気候・住居・食事）の中で、周囲の人の協力を得ながら、自分なりに生活することができるようになることもねらいの一つです。本授業では、日本語パートナーズプログラムに参加し、現地での活動中は定期的にレポートを書き、授業担当教員とやりとりをします。さらに、帰国後の報告会で報告することで、内省や学びを深めます。</p>
到達目標 Course Objectives	<p>日本語パートナーズとしての心構え</p> <p>①公的な活動を行う立場であることを十分にわかまえる。また、厳しい環境の中でも生活できるバイタリティ・柔軟性・チャレンジ精神、及び自助努力の精神、自覚と責任を持つ。</p> <p>②インドネシアの人々との交流・コミュニケーションへの情熱、及びアジアの社会、及び文化を学ぼうとする好奇心と謙虚さを持つ。</p> <p>上記の心構えで、現地日本語教師のアシスタントとしての業務に取り組み、以下の目標を達成できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 派遣先で、現地に暮らす人たちの日本語や日本文化への興味を高める方法を考えることができる。</li> <li>・ 言語や文化背景の異なる相手とのコミュニケーション能力を高める。</li> <li>・ 派遣先の国の言語や文化に対する理解を深める。</li> <li>・ 異文化に出会った際に、自分なりに受け入れ、対処できるようになる。</li> <li>・ 異文化の中で生活・就労することを通じて、自文化を相対化して考えることができるようになる。</li> <li>・ 自分の活動を振り返りながら、計画的に改善することができる。</li> <li>・ 自分の経験や考え、学んだことを、自分のことばで発信することができる。</li> </ul>

<p>授業方法 Teaching Methods</p>	<p><b>【実習】</b> 2025年8月～2026年3月（派遣先の都合により派遣時期が変動する可能性があります。） 実習中は以下の活動を通して、ことばと文化を伝えることを実践します。 ① 現地の日本語教師が行う授業への協力 ② 授業の教材作成等への協力 ③ 授業や課外活動における生徒との交流（日本語での会話、文化活動への協力等） ④ 国際交流基金が実施する日本語教育事業への協力 ⑤ その他、現地要望に応じて、地域における日本語学習支援、日本文化紹介を通じた交流活動等 ⑥ 国際交流基金が実施する、各種広報活動への参加・協力 ⑦ その他、国際交流基金または派遣先機関が依頼する活動</p> <p><b>【授業】</b> ・本授業の課題として、週間レポート、月間レポート、中間報告、最終報告を提出する。</p> <p><b>【帰国後】</b> ・国際交流基金本部で行われる報告会で、現地での実習について報告します。（2026年3月帰国後2か月以内） ・APU学内での最終プレゼンテーション（2026年4～5月予定）</p>						
<p>毎回の授業の概要 Overview of Each Class</p>	<p>実習は、国際交流基金および派遣先教育機関が定める日程で行う。</p>						
<p>実習スケジュール Practice Schedule</p>							
<p>予習・復習の内容と分量 Pre-class Study Load [preparation &amp; review]</p>	<p>本授業の課題として、週間レポート、月間レポート、中間報告、最終報告（それぞれ、A4で2～4ページ程度）を提出する。</p>						
<p>成績評価方法 Method of Grade Evaluation</p>	<p>P/F評価</p> <table border="1" data-bbox="772 1359 1963 1495"> <tr> <td>・週間・月次報告書</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>・中間報告書</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>・最終報告書</td> <td>40%</td> </tr> </table>	・週間・月次報告書	30%	・中間報告書	30%	・最終報告書	40%
・週間・月次報告書	30%						
・中間報告書	30%						
・最終報告書	40%						
<p>多文化協働学修の実践方法 Method of Implementing Multicultural Collaborative Learning</p>	<p>日本語パートナーズプログラムに参加し、インドネシアの教育機関で就労しながら生活することを通じて、異文化体験をすることができる。また、派遣前研修では、同僚の日本語パートナーズと協働して課題に取り組む機会も得られる。</p>						
<p>授業担当教員の実務経験 Instructor's professional experience/involvement (outside academia)</p>	<p>インドネシアの大学における日本語教育経験を有する。</p>						
<p>学生への要望事項 Requirements for Students</p>							
<p>テキスト (授業を履修する上で、購入が必須となる書物) 備考 Textbook Notes</p>	<p>国際交流基金が別途指定する。</p>						
<p>テキスト (授業を履修する上で、購入が必須となる書物) Textbook (Students will need to purchase these textbooks when registering for this course.)</p>							
<p>参考文献備考 Further Reading Notes</p>	<p>国際交流基金が別途指定する。</p>						
<p>参考文献 (図書、視聴覚資料) ライブラリリザーブコーナーに設置 Further Reading (Books, audiovisual materials) (Available at Reserved Corner in the APU Library)</p>							

参考文献 (雑誌、年鑑白書等) Further Reading (Journal articles, white papers, year books, etc.)	
備考 Misc. Notes	<p>【派遣前研修】  (「日本語パートナーズ」URL参照：<a href="http://jfac.jp/partners/overview/training/">http://jfac.jp/partners/overview/training/</a>)  派遣前研修では、日本語パートナーズとして必要な知識と技術を身につけるために、  以下のような内容で授業が行われます。</p> <p>① インドネシア語  ② 日本語教授法、日本事情関連  ③ 一般講義(東南アジアの歴史と文化、異文化コミュニケーション、ストレスマネジメント等)</p>
担当教員研究室電話番号 Office Phone No.	0977-78-1285
担当教員E-mailアドレス E-mail Address	<a href="mailto:nunook@apu.ac.jp">nunook@apu.ac.jp</a>
E-Book および 関連ページ E-Book & Course-related links	<a href="https://www.apu.ac.jp/abroad/program/?pgid=17&amp;version=&amp;version=">https://www.apu.ac.jp/abroad/program/?pgid=17&amp;version=&amp;version=</a>